



# 道

学校の教育目標  
「ともに学び、  
心豊かで  
たくましい  
子供の育成」

## \* 「心」や「思い」が見えるように \*

校長 宮島 和生

子供たちの元気な声が校舎に響き渡り、2学期がいよいよ始まりました。依然として新型コロナウイルスの変異株が猛威をふるっています。これまで行ってきた感染防止対策をさらに徹底しながら、日々の教育活動を行ってまいりますので、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

2学期は運動会や学習発表会をはじめ、多くの行事が予定されています。始業式ではどの行事においても友達と協力することが大切であることを子供たちに話しました。協力するためには、一人一人がもっている協力しようとする「心」や「思い」を、目に見える「心づかい」や「思いやり」に変える必要があります。そうすることで互いの心や思いが一つになり、一人では成し遂げることができそうもない事でも、達成することができるはず。「東部っ子」の絆がより深まる2学期となるように、ぜひご家庭でも励ましの言葉をかけていただくようお願いいたします。

県内の新型コロナウイルス新規感染者数が依然として多い中での2学期開始に、保護者の皆様も大変心配していらっしゃると思います。この夏の状況からは、家族内で感染が広がる事例が大変多いようです。子供たちを含め家族内・家庭内での感染防止の徹底をお願いするとともに、子供の体調が悪いときは、無理をせず家庭で休養させていただくようお願いいたします。学校では保健だより等でもお知らせしているとおおり、手洗いやマスク着用の徹底、黙食等のこれまで行ってきた対策の見直しと徹底を行っていきます。

なお、昨日配付しましたとおおり、11日(土)に予定していました秋季大運動会を23日(木・祝)に延期し、来校者も6年生の家族(各家庭2名まで)にさせていただきます。運動会での参観を楽しみに予定されていたかと思いますが誠に申し訳ありません。感染状況を考えた苦渋の対策であることをご理解いただくようお願いいたします。

## \* 9月1日は創立記念日 \*

9月1日に、本校は53歳の誕生日を迎えました。昭和43年9月1日に浜加積小学校と早月加積小学校が統合し、東部小学校として現在の場所に設置されました。校長室にある当時の市の広報紙を見てみると、各町内の代表者の方々が何度も会合を重ね、設置にあたって随分とご苦労された様子をうかがうことができます。また、当時の金額で約1億3千万円余りの費用(現在の貨幣価値に換算すると4億円以上になります)が投じられたことも記されており、東部小学校の設置には多くの市民の期待が託されていたことが推察できます。家族に当時の様子をご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひその時の思い出を子供たちに話してもらえればと思います。地域のみなさんの大切な思い出や願いがあることを、子供たちに知ってほしいと思います。そして、これからも、伝統や文化を受け継ぎ、さらに誇りに思えるような学校へと発展できればと思います。



昭和44年の校舎(創校50周年記念誌より)